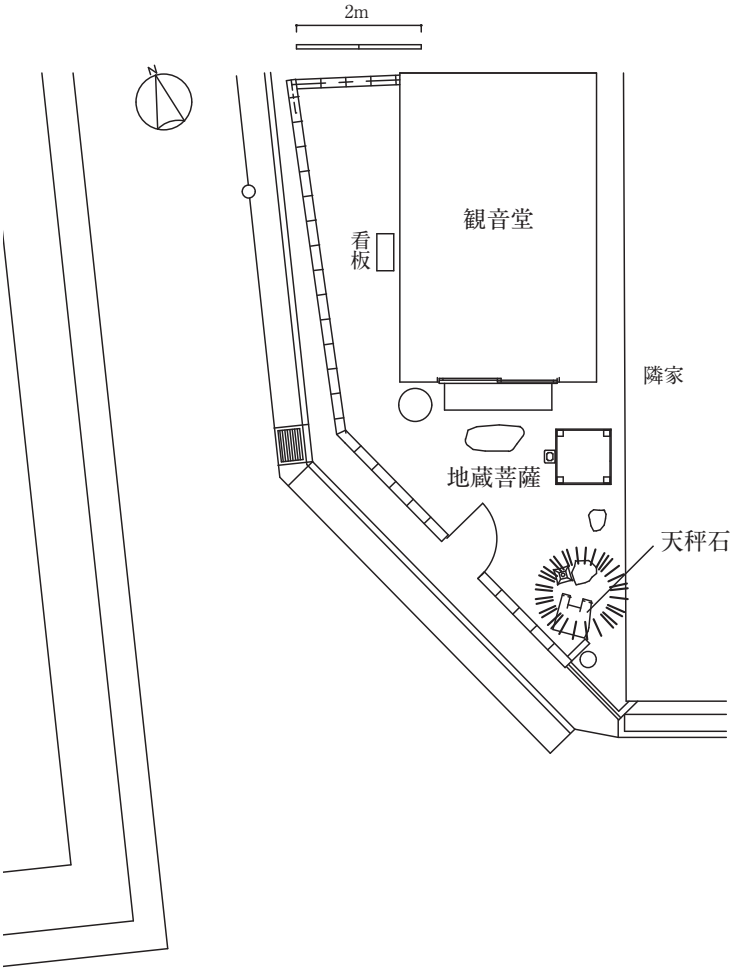
31 観音堂

一切諸法の観察 衆生救済の自在（平野 427 西）

地蔵菩薩

天秤石　出所不明なれど趣有。



台座裏

観音菩薩像

松林寺十世鼇山禅師の開山と言われ、御本尊として恵心僧都の作と伝えられる観音菩薩像が安置されている。恵心僧都は天台宗の僧であるが、その著書『往生要集』は法然上人、親鸞上人の教えの原点となった高名な僧である。尚、現在安置されている像は聖観音坐像である。往時、隣接地に尼僧庵があったという。「観音堂」は地名としても残った。

堂内には鼇山和尚の位牌が祀られている。松林寺境内の大神宮に鼇山禅師の奉納した常夜灯がある。

鼇山和尚　宝暦九年（1759）70歳で没す。

恵心僧都　天慶五年（942）～寛仁元年（1017）

台座の銘

長径355mm

元文四未年
松林中興鰲山禅師隠室建立了
圓成シテ大悲尊容ヲ遷座
當菴圓通庵開基
雲山慧龍　謹誌

堂本尊観世音大士
慧心僧都御作也　當年
聖かん音様

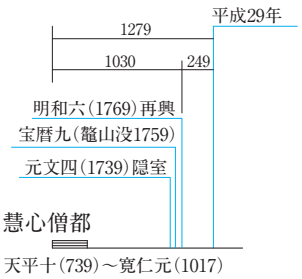
迄一千三十年成ル茲時明
當年再興御手ノ蓮華
玉冠厳リ後光臺座并ニ

丑歳正月上京七月朔日下向也
和六巳丑歳七月吉辰
世話役堂ノ片田定吉

厨子共代銀三百目

※銀三百目は五～六十万円に相当

※鰲山は鼇山に同じ



注: 岡山県立博物館の鑑定では、「恵心僧都」の作とは断定不可。

観音堂看板